

# 先進地を行く

ADVANCED DISTRICT

行財政改革が進む、大分県九重町と日出町へ

## 総務

総務常任委員会が11月14日、15日、先進地を視察しました。レポートを紹介します。

委員長 中ノ森慎一  
副委員長 西田 勉  
委員 内田 清喜  
松枝 恒男  
近藤 純久  
中島 裕之

委員 中ノ森慎一  
副委員長 西田 勉  
委員 内田 清喜  
松枝 恒男  
近藤 純久  
中島 裕之

## 行財政改革で経常経費を抑え、橋建設で地域に夢を

大分県玖珠郡九重町の行財政改革について研修を行った。

「町が輝き続けるために」の目標を掲げ、自立推進計画、財政計画、ふれあう魅力あるまちづくりを確立し、町長をはじめ、全職員が一丸となって行財政改革に取り組む姿勢に感銘した。

「町民の皆さんの理解を得るには、行政がまず動かなければならない」という考えで、平成17年度から助役と収入役を廃止、職員給

与の5%カットを実施している。

また、業務を見直し、職員の意識改革をまずもって行うことで、計画どおりに行財政改革が進んでいる。

一方で、昨年10月末に完成した「九重夢大つり橋」のように、地域活性化のための投資も怠っていない。

総工費約20億円をかけたが、開通1ヶ月で30万人の来場者があり、入場手数料は1億5千万円にもなった。

宿泊施設や食堂などの商業だけではなく、農産物の販売収益など、地元農家に与えた相乗効果は大きい。



九重町が夢を託した大つり橋

## 行財政改革はまずは職員の意識改革から

大分県速見郡日出町の行財政改革について研修を行った。

「明るい展望のもてる町に」の目標を掲げ、平成17年度から5年間で再建期間とし、行財政改革を積極的に行っている。

九重町と同じく、まずは行政が変わらないといけないということ。平成17年度から町長をはじめ特別職の給与（町長は20・45%、助役17・04%、教育長15・10%）、職員給与を5%カットしている。

さらには、庁舎管理費の削減のため、庁舎の清掃は職員で行っている。

また、見直し検討事項や行政評価対象事務事業を事細かに整理し、評価、検討を進めている。

P D C A（計画、実施、評価、改善）サイクルの過程には、町民の皆さんの意見を反映させる仕組みが確立している。

改革の進捗状況をはじめ町政状況は、広報誌、ホームページでしっかり町民の皆さんに公表し、信頼関係を深めている。



日出町での視察研修のようす